

宍粟市の地域課題の現状と取り組み (R3~R6 年度自立支援サポート会議より)

地域課題の現状

- ・高齢期における筋力維持が難しい
- ・腰椎圧迫骨折・骨粗しょう症が70歳以降多くなる

- ・薬の適切な服用が出来ない

- ・柔らかい物しか食べられない

- ・高齢期における適切な食生活
- ・調理ができない

- ・高齢者の活動の場が少ない
- ・デイケア卒業後の受け皿がない

- ・人口減の中で見守りができない

- ・近隣みんなが高齢者
- ・同居の息子が支援者になりにくい

- ・運転免許返納後、外出機会が極端に減る

高齢期における筋力維持

薬の適切な服用

口腔の機能維持

高齢期における適切な食生活

男性の地域における居場所づくり

高齢の親と離れて暮らす
子供への関わり

移動手段の課題

取り組み

- ・いきいき百歳体操の市内マップを作成し医療機関に配布
- ・いきいき百歳体操愛称募集

薬剤師による助言 (居宅療養管理指導)

オーラルフレイルの取り組み
(介護支援専門員・介護職員)

アセスメントシート活用による食生活相談の実施

男性の外出場所の情報提供
(囲碁クラブ・高齢者大学)

宍粟市の地域課題の現状と取り組み

～口腔編～

高齢者質問票（国・県・同規模との比較）

- ・半年前に比較し、固いものが食べにくい割合が高い。
- ・お茶や汁物等でおせる割合が低い。

自立支援サポート会議

- ・やわらかいものしか食べられない

KDB（国保データシステム）

<介護保険の状況>R6年（国・県・同規模との比較）

- ・要介護認定者医療費（40歳以上）は低い。
- ・要介護認定なし者医療費（40歳以上）は高い。

KDB（国保データシステム）

<医療保険の状況>R3年～R7年（国・県・同規模との比較）

国保（外来）

- ・1件当たりの医療点数が高い。

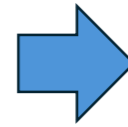
後期（外来）

- ・男女共に1件当たりの医療点数が高い。
- ・ただし、R3～R6の女性については、国・県・同規模より低い。



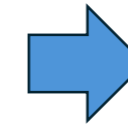
<分析項目>

- ・高齢者質問票
- ・自立支援サポート会議
- ・KDB
(医療保険医療費)



<分析結果>

- う歯悪化による、医療費の高騰
- ① 早期受診する割合が少ない。
 - ② 受診が遅れることによる医療費高騰



<取り組み状況>

ポピュレーションアプローチ

- ・いきいき百歳体操（パタカラ体操の啓発・ミニ講座）
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
- #### ハイリスクアプローチ（オーラルフレイル事業）

R6年度（一宮）28回 358人

R7年度（一宮）28回 358人